



亀田郷土地改良区

新潟県新潟市江南区東早通 1 丁目 2 番 25 号
〒 950-0148 TEL 025 (381) 2131 FAX 025 (382) 6756
ホームページ http://www.kamedagou.jp

発行責任者 五十嵐 修 平

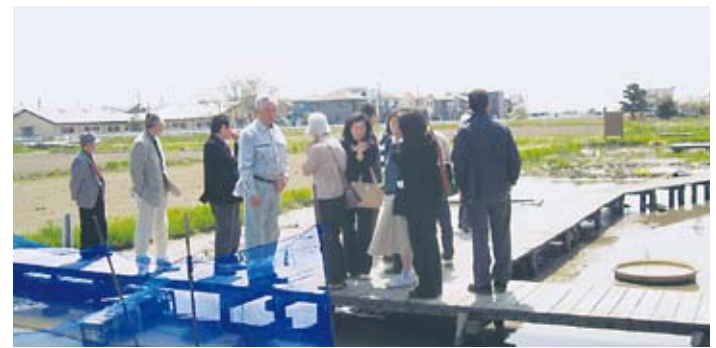
東部地区 事務所	亀田出張所 横越出張所	381-7586 385-2018	☎382-9339 ☎385-4833	西部地区 事務所	石山出張所 鳥屋野出張所	286-4816 244-3778	☎286-2340 ☎243-1230
南部地区 事務所	曾野木出張所 両川出張所	280-6101 280-2130	☎280-6218 ☎280-3856	北部地区 事務所	大形出張所 大江山出張所	273-1754 276-2381	☎270-0222 ☎277-5521

● 亀田郷土地改良地区シンボルカラー ● 農地 ● 水をイメージ



組合員 4,810人 : 横越 963 / 大江山 740 / 亀田 737 / 両川 440 / 曾野木 471 / 鳥屋野 296 / 山湯 226 / 石山 359 / 大形 578 平成21年4月1日現在

水と土の芸術祭イベント・新潟オランダ祭り～亀田郷バスツアー～



4月18、19日に新潟オランダ協会の主催による新潟オランダ祭り'09が開催されました。新潟とオランダは共に大地が海拔以下にあり、長年水との闘いを強いられ克服してきたという共通点があります。

オランダ祭りには駐日オランダ全権公使夫妻も参加され、にいがた花*花ものがたり、新潟の水と土を考えるフライングトーク、水と土の郷・亀田郷バスツアーなどが行われました。

18日のフライングトークでは篠田新潟市長、紙谷新潟大学副学長、五十嵐土地改良区理事長がパネリストとして参加し、「水鳥飛び交う田園型政令都市に向けて」と題しパネルディスカッションを行いました。篠田市長は、「水と土の芸術祭」の開催は、信濃川と阿賀野川によって囲まれ、これらの河川が運んできた土砂によって形成された新潟市には水や土の闘いで生まれた文化、景観、食ともてなしの心が各地区にあり、これらを再発見することで新潟の良さを再確認できると話しました。

五十嵐理事長は、亀田郷は現在も2/3が海拔以下で郷内の排水対策が重要であり、この点は干拓を行い、国土を築いてきたオランダと似ている。亀田郷も栗ノ木排水機場、親松排水機場と排水能力の高いポンプ場が建設されたことにより乾田化され発展してきた。今後も良好に維持管理していくことが重要であり、それは今も変わらないことを忘れないでほしいと述べました。

紙谷副学長は、丸瀧新田地区で取り組んでいる再生湿地プロジェクトを紹介し、湿地では貴重な水生植物が観られるようになり、また魚道を設置したところフナなどの遡上が確認でき、休耕田をこのように利用することも大切であると話しました。

翌19日にはバスツアーが行われ、亀田郷土地改良区展示ホール、芦沼館の見学、前日のフライングトークで紙谷副学長が紹介した丸瀧新田再生湿地、親松排水機場を見学し、弥次郎農園で昼食を頂きました。

このようなイベントを通じ、自分たちが生活している場所がどのような歴史を辿り、先人の取組みを大事に守り育て、亀田郷に愛着を持っていただきたいと思います。